

分野	原典 ページ	行	変更 事項	変 更 内 容	備 考
地理	巻頭 1 巻頭 2		変更	地理の学習を始めるにあたってのうち、「SDGs」は、ここにすべてを掲出し、以下は略記することとした。 略記は次の通りとする。 1 貧困 2 飢餓 3 保健 4 教育 5 ジェンダー 6 水・衛生 7 エネルギー 8 経済成長と雇用 9 インフラ・産業化 10 不平等 11 持続可能な都市 12 持続可能な消費と生産 13 気候変動 14 海洋資源 15 陸上資源 16 平和 17 実施手段	2 編集の具体的方針(1)による。
	III		整理 変更	「本文ページの見方・使い方」について本文中の掲載順にあわせ、以下の順に並べた。 【「導入資料・中心資料」→「学習課題」→「資料ナンバー」→「側注解説」→「THINK!」→「学習コラム」→「確認と表現」】 「学習コラム」のもくじは、当該項目掲載巻の「巻数」のみ掲載した。	2 編集の具体的方針(1)による。
	IV	まな び リ ン ク	変更	教科書本文中の「まなびリンク」は、このページのみURLを示すこととし、それ以降についてはリンクのQRコードは削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
	2	図	削除 変更	①「地図の決まりを思い出そう」は、以下のように変更した。 「方位」 方位を表す図と吹き出し「矢の先が『北』を…」は、本文と重複となるので削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。

			「16 方位を示した図」は点図化した。 なお、空欄部分についても方位を補記した。	
2	記号	変更	「地図記号」の「風車」・「自然災害伝承碑」「老人ホーム」の地図記号は、点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
3	地図	変更	②「地図帳を使いこなそう」の地図帳の索引を使う項目については、四国地方の部分に特化し、配列を簡素化した。 (横 2 マス×縦 2 マス) 地図に合わせて例題も変更した。	2 編集の具体的方針(1)による。
3	地図	変更	③「地図上で位置を表そう」 本欄での地図は、ともに項目の整理などを行い、触読可能な形で点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
4	グラフ	削除 変更	④「人口ピラミッド(年齢別人口構成図)をつくってみよう」に関して、点字使用生徒が書き込むグラフを作ることは困難なため、以下のように変更した。 【・1930 年と 2010 年、2020 年の 3 枚の人口ピラミッドのグラフは「完成した状態」のものを掲載し、数値も併記した。 ・本文と課題文を以下のように変更した。 (※本文文末) 【…変化していくかということなどもわかります。数値からグラフを自分で作ることもできます。】 (※課題文) 【2020 年のグラフの 65 歳以上と 14 歳以下の部分の数値を読み、人口ピラミッドを確認して、日本の人口の変化について考えてみましょう。 ① 5 歳ごとの人口に占める割合を確認して、人口ピラミッドを読みましょう。 ② 人口ピラミッドを読み、日本の人口構成は以前と比べて、どのように変化したのか話し合ってみましょう。】	2 編集の具体的方針(1)による。
6	写真 図	削除	「バビロニアの世界図」は、本文中に写真・図についての説明が記されているため、削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
7	地図	変更	③「大西洋を中心にとらえた地球と、日本を中心にとらえた地球」は、p.7 の図を基図とし、名称を空欄で表した。	2 編集の具体的方針(1)による。

7	図	変更	「地理の技」世界の略地図を描いてみよう①は、書くことができるという形で文章化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
7	グラフ	変更	⑤「陸地と海の面積の割合」は数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
9	図	削除	④「地球の傾きで生じることは何だろう」は、図による表現・理解が困難なため、図を削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
10	地図	変更	③「地球儀を切り開いてみると…」は地球儀を切り開いた形のみを点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
11	地図	変更	④「面積が正しい地図」 ⑤「図の中心からの距離と方位が正しい地図」 ⑥「角度が正しい地図」以上 3 枚の地図は、一体的に比較できるようにそれぞれ点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
11	図	変更	⑦「国際連合のマーク」については、マークとして判別できる程度に点図化した	2 編集の具体的方針(1)による。
11	図	変更	「地理の技」世界の略地図を描いてみよう②は、簡単な描き方の例を変更し、図を描くことをイメージしやすいように配慮した。 文章は、以下のように変更した。 【位置関係をはっきりさせるには、赤道、本初子午線、180 度の経線を確認するといいでしょう。】	2 編集の具体的方針(1)による。
12	グラフ	削除 変更	②「国連加盟国数の変化」は、グラフを削除し、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
12	地図	削除	③「面積の小さな国々の例」は地図を削除し、表中以下の文章を追加した。 【面積の小さな国と、その国の値に近い日本の島や施設を比べられるように示した。】	2 編集の具体的方針(1)による。
13	地図	削除 変更	④「人口を面積に置き換えて示した世界地図」は、数値化し、日本を 1 とした時の大きさを示した。	2 編集の具体的方針(1)による。
13	グラフ	変更	⑤「世界の州別の人口割合」は、数表化して示した。	2 編集の具体的方針(1)による。
14	国旗	削除 変更	①「世界のさまざまな国旗」については、地図は削除し国旗の形状について、以下の順で図にして示した。 【イギリス→フィンランド→日本→オーストラリア→カナダ→アメリカ→ソ連とロシア→南アフリカ共和国→三色を使った国旗】	2 編集の具体的方針(2)による。
14	地図	削除 追加	④「インド・パキスタン・中国の国境付近」の地図を削除し、以下の文章を追加した。	2 編集の具体的方針(1)による。

			【インド・パキスタン・中国の国境付近には、それぞれの3国が主張している異なる国境線が記されている。また、パキスタンから中国にかけて、インド・パキスタン停戦ラインが記されている。】	
16	地図	削除 変更	②「16世紀後半につくられた世界地図」は地図を削除し、解説をつけた。	2編集の具体的方針(1)による。
16 17	図	削除 変更	③「ロンドンと東京・ニューヨークの時刻と位置の関係」と④「イギリスと規準とした世界の等時帯を表した図」は図を削除し、データのみを数表化し、それぞれに世界各地の時刻を列記した。	2編集の具体的方針(1)による。
18	地図	変更	①「日本の領土・領海と排他的経済水域」は、点図化した。排他的経済水域を塗った図とし、地図中に領土の端を1.～4.の番号で示した。補足資料の扱いでA～Dをあげ、Dのあとに説明文をおいた。それに伴い、「THINK!」を以下のように変更した。 【「①地図中の1.～4.にあてはまる島の写真を…(以下同じ)」】	2編集の具体的方針(1)による。
19	図	変更	③「領土・領海・領空の区分」は、点図化し、各区分を断面図の形式で示した。	2編集の具体的方針(1)による。
19	図	削除 変更	「国々の領土と排他的経済水域の面積」は数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
20	地図	変更	①「北方領土とその周辺」は、日本の領域と境界線がわかるよう点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
21	地図	変更	④「南東を上にして、日本海周辺を描いた地図」は、それぞれの位置関係がわかるように点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
22	地図	修正 変更	①「日本の都道府県と七地方区分」は点図化し、七地方区分ごとの7枚の地図とし、それに地方名を加えた。それに伴い、「THINK!」を以下のように変更した。 【各地方区分にあてはまる都道府県名をすべてノートに書き出そう。】	2編集の具体的方針(1)による。
22	地図	削除 変更	④「都道府県庁所在地とその成り立ち」は、地図は削除し、都道府県庁所在地と城下町の都市名を表形式で示した。	2編集の具体的方針(1)による。
23	地図	変更	「地理の技」日本の略地図を描いてみようは、日本の略地図を描けるやり方を指示する形で説明した。	2編集の具体的方針(1)による。

27	グラフ	変更 削除	本ページ「地理の技」雨温図を読み取ろうは、雨温図における気温と降水量のグラフは、3都市（東京、ブエノスアイレス、オイミヤコン）を点図化した。また東京が基準となるため、東京を最初に掲出した。なお、このページのグラフも、点図では1ページに収まるように示した。 なお、本章において気温と降水量のグラフで取り上げられる地点が属する国は、地図で図示する代わりに「地点名（国名）」のように各図に示しているので留意すること。 また南半球の地域については一年間の最低気温の月に補助線を入れた。	2編集の具体的方針(1)による。
28	地図	削除	マレーシアの位置を示す地図は、「地図帳で確認しよう」と記述して削除した。以下、本章の各ページの国の位置を示す地図も削除している。点字地図帳等で確認することが望ましい。	2編集の具体的方針(1)による。
29	地図 グラフ	変更	④「熱帯の気候分布」、⑦「熱帯の雨温図」は気候分布の地図を日本中心の地図として点図化し、クアラルンプール、リオデジャネイロ、バンコクの気温と降水量のグラフを点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
30	地図 グラフ	変更	④「乾燥帯の気候分布」、⑦「乾燥帯の気温と降水量」は気候分布の地図を日本中心の地図として点図化し、ウランバートル、カルグーリー、アリススプリングスの気温と降水量のグラフを点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
33	地図 グラフ	変更	④「温帯の気候分布」、⑦「温帯の気温と雨温図」は気候分布の地図を日本中心の地図として点図化し、シャンハイ、パリ、パースの気温と降水量のグラフを点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
35	地図 グラフ	変更	④「冷帯・寒帯の気候分布」、⑦「冷帯・寒帯の気温と雨温図」は気候分布の地図を日本中心の地図として点図化しモスクワ、バロー、昭和基地の気温と降水量のグラフを点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
36	図	変更	③「高度によって変化するアンデス山脈の栽培植物と家畜」は、高度の低い方から、植生と栽培植物と家畜、都市名を示した。	2編集の具体的方針(1)による。
37	地図 グラフ	変更	④「高山気候の分布」、⑦「高山気候の雨温図」は気候分布の地図を日本中心の地図として点図化し、ラサ、ラパス、アディスアベバの気温と降水量のグラフを点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
38	グラフ	変更	②「世界の主な言語別の人口」は数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。

39	地図	削除 変更	③「世界の共通語・公用語」は広がっている地域についての説明文に変更した。	2 編集の具体的方針(1)による。
41	グラフ	変更	④「世界に見る宗教別の人口割合」は、円グラフで示した。	2 編集の具体的方針(1)による。
41	地図	変更	⑤「世界の主な宗教の分布」は把握しやすい形で点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
42	地図 文章	削除 変更	「1 学習したことを振り返ろう」を以下のように変更した。 【1. 世界各地の気候と暮らし (1) 次にあげる a、b の気候の特色を持つ地域の広がりや、地図で確認しよう。 a. 一年中気温が高く・・・ b. 一年を通じて気温が・・・ (2) a、b の気候の雨温図にあてはまるグラフを読み、ア～ウの都市名を選びましょう。 ア. クアラルンプール (■雨温図の掲載ページ数を示し、地図は削除、イ・ウも同じ) 2. 世界の言語、宗教と暮らし (1) 次にあげる a～d の国で主に信仰されている宗教名を答えよう。 a. ネパール b. イラン c. フランス d. タイ 】	2 編集の具体的方針(1)による。
43	写真	削除 変更	①～③写真をすべて削除し、以下の説明を追加した。 【1. 南アフリカ レストランのテーブルの上にはナイフやフォークが並んでいます。 2. 台湾 箸を使って麺を食べている人々がテーブルを囲んでいます。 3. インド 床の敷物に座って子どもたちが、右手を使ってカレーを食べています。】	2 編集の具体的方針(1)による。
44	地図	削除	地図を削除した。次ページの地図や地図帳にて国の位置が確認できる。	2 編集の具体的方針(1)による。
44	グラフ	削除	「世界の各州ごとの面積と人口」は第 1 巻に配置した。	2 編集の具体的方針(1)による。
44	写真	削除	写真をすべて削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。

45	グラフ	変更	「世界の人口の推移」は、点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
45	写真	削除	写真をすべて削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
46	地図	変更	①「アジア州の地勢と国々」は、「地勢編」と「国々編」の 2 枚に分けた。地図中の首都名を削除し、凡例に移動した。山脈名、河川名、海洋名、半島名も一部削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
46	吹き出し	変更	先生のセリフを以下のように変更した。 【〇〇ページの『資料 1 地図 アジア州の地勢と国々』と比べて、アジアの地域区分の境界線を確認しよう。】	2 編集の具体的方針(1)による。
47	地図	変更	②「アジアの人口密度」は点図化した。 1 k m ² あたり 25 人未満、25～100 人未満、100 人以上に区分した。	2 編集の具体的方針(1)による。
47	地図	変更	③「アジアの年間降水量と地域区分」は、「年間降水量」と「地域区分」の 2 枚に分けて点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
47	地図	変更	④「アジア各地の雨温図」は 3 枚とも点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
47	文章	変更	「表現！」の文章を以下のように変更した。 【アジアの自然環境について、湿潤な地域と乾燥した地域を地図で確認し、それぞれの特徴をまとめよう。】	2 編集の具体的方針(1)による。
48	写真	削除 変更	①写真を削除し、以下の説明を追加した。（さくらの吹き出しと関連性があるため） 【韓国語の他、日本語や英語などの看板が多く見られます。】	2 編集の具体的方針(2)による。
48	グラフ	変更	②「韓国の輸出品・輸出先の変化」は数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
49	表	変更	④「スマートフォンの企業別の販売台数の割合」は数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
49	地図	変更	⑤「朝鮮半島の人口密度と都市の分布」は、「朝鮮半島の人口密度の分布」の点図と、「朝鮮半島の主な都市の人口」の数表化とした。 「朝鮮半島の人口密度の分布」の点図化は、人口密度の「500 人以上」「200 人～500 人未満」「200 人未満」に区分した。	2 編集の具体的方針(1)による。

49	写真	削除 変更	地理の窓の写真は削除し、以下のように説明を変更した。 【境界のエリアでは、境界線を真ん中にして、青い屋根と外壁の平屋の建物が複数並んでおり、常に韓国・北朝鮮双方の兵士が警備を続けています。】	2 編集の具体的方針(1)による。
50	地図	変更	①「中国の人口密度の分布」は、点図化した。「400 人以上」「10 人～400 人未満」「10 人未満」に区分した。	2 編集の具体的方針(1)による。
50	地図	変更	②「中国の民族の分布」は点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
50	吹き出し	変更	ミゲルのセリフを以下のように変更した。 【〇〇ページの地図と〇〇ページの地図を比べて、気づいたことについて、話し合おう。】	2 編集の具体的方針(1)による。
51	地図表	変更	④「中国の農業の分布」の地図は、「中国の農業分布」とその他の農産物と降水量」という 2 つの点図に分けた。表は、文章化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
51	グラフ	変更	⑥「米の生産の国別割合」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
52	グラフ	変更	④「主な電子機器の生産に占める中国の割合」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
53	地図	変更 削除	⑤「中国の資源の分布と工場」は、要素を整理して点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
54	写真	削除 変更	①「コーヒープランテーションで働く労働者」は、写真を削除し、以下の説明を追加した。 【コーヒー栽培は、主に中南米や東南アジア、アフリカで行われており、生産量はベトナムが世界第 2 位、インドネシアが世界第 4 位となっています。】	2 編集の具体的方針(1)による。
54	地図	変更	③「東南アジアの農業分布」は、水田、畑と草地、森林、天然ゴムに区分し、他は削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
54	グラフ	変更	④「東南アジアの国の輸出品の変化」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
55	地図	変更 削除	⑤「貿易で結びつく日本と東南アジアの各国」は、地図を削除し、進出した日本企業の数之数表化した。A S A E A N 現加盟国のみ、1 9 8 8 年度の数()内に示した。	2 編集の具体的方針(1)による。
55	写真	削除	地理の窓の写真は削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
56	写真	削除 変更	①「ジュートの収穫と加工品の生産」は、写真を削除し、以下の説明を追加した。	2 編集の具体的方針(1)による。

			【身長よりも高く成長したジュートを複数の人が鎌で刈り取っています。また、女性が製品を手で編んでいます。】	
56	写真	削除 変更	②「茶の収穫」は、写真を削除し、以下の説明を追加した。 【複数の人が、大きなかごを背負ってお茶の葉を手で摘み取っています。】	2 編集の具体的方針(1)による。
56	地図	変更	③「南アジアの農業分布」は、「稲作、小麦、森林」と「綿花、ジュート、茶」の2枚に分けて点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
56	グラフ	変更	④「茶・綿花・ジュートの生産量の国別割合」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
57	地図	削除 変更	⑥「アメリカ合衆国とインドの位置関係」の地図は削除し、説明の最後に、以下の文章を追加した。 【地球儀でインドとアメリカ合衆国の位置を確認しよう。】	2 編集の具体的方針(1)による。
57	グラフ	変更	⑦「南アジア各国の輸出品」は数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
57	写真	削除	地理の窓の写真は削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
58	グラフ	変更	③「原油の生産量と埋蔵量の国別割合」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
59	地図	変更	④「世界の主な油田と、原油輸出の流れ」は、「原油の移動」を「8000 万 t 以上」「5000 万 t～8000 万 t 未満」「1000 万 t～5000 万 t」の区分にし、輸出元から輸出先で数表化した。地図は、「世界の主な油田」とし、数表と2枚に分けて点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
60	地図 文章	削除 変更	「1 学習したことを確認しよう」の地図は、削除し、原典教科書 46 ページの地図を参照にすることとした。また、文章を以下のように変更した。 【1 学習したことを確認しよう 1. 地図を使って確かめよう。なお、(1)～(7)は国名、ア。～ケ。は山脈や河川などである。(p○～○) (1) 韓国(大韓民国) (2) 北朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国) (3) 中国(中華人民共和国)	2 編集の具体的方針(1)による。

			(4) インド (5) サウジアラビア (6) ベトナム (7) フィリピン ア. 朝鮮半島 イ. ヒマラヤ山脈 ウ. 黄河 エ. 長江 オ. インドシナ半島 カ. ガンジス川 キ. ヒンドスタン平原 ク. アラビア半島 ケ. ウラル山脈 2. 空欄にあてはまる語句を入れよう。 (1) アジアをながめて ア. 湿潤な地域…東アジアの一部、東南アジア、南アジア…降水量が多く、(ア) が盛ん。(イ) 密度が高い。 イ. 乾燥した地域…東アジアの内陸部、西アジア、中央アジア…降水量少なく、古くから(ウ) が行われる。 (2) 朝鮮半島の国々 ア. 大韓民国(韓国) : 急速な工業化、「アジア(エ) 」とも呼ばれる。・・・ ※ 以下、同様に続く 】	
61	文章表	変更 削除	「2 学習したことを振り返ろう」は、表を削除し、以下のように文章化した。 【アジア州の学習を振り返りながら、例に従って次の1.～5.の国や地域の、経済成長によって生じた影響について、良い点と課題をそれぞれまとめなさい。 例 1. 朝鮮半島 課題「農村では過疎化と高齢化が進行(韓国)」、5. 西アジア・中央アジア 良い点「石油収入により国民に対する社会福祉が充実(西アジアの産油国)。」 1. 朝鮮半島 2. 中華人民共和国 3. 東南アジア 4. 南アジア 5. 西アジア・中央アジア 】	2 編集の具体的方針(1)による。

61	図	変更	「3 学習したことを活用してまとめよう」の付箋の図は点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
62	地図	削除	ヨーロッパの地図を削除した。次ページの地図や地図帳にて国の位置が確認できる。	2 編集の具体的方針(1)による。
62	写真	削除	写真をすべて削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
62	グラフ	削除	「世界の各州ごとの面積と人口」は第1巻に配置した。	2 編集の具体的方針(1)による。
62	表	変更	「ヨーロッパ連合と他国との比較」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
63	写真	削除	写真をすべて削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
63	グラフ	変更	「デンマークのエネルギー源別の発電割合」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
63	グラフ	変更	「コペンハーゲン市内の通勤・通学の交通手段」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
63	写真		⑦「駅の行先表示に見る、国境を越える列車」は、写真を削除し、以下の説明を追加した。 【ドイツ・ミュンヘンの駅には、ザルツブルク（オーストリア）行きやプラハ（チェコ）行きといった行先表示が見られます。】	2 編集の具体的方針(1)による。
64	地図	変更	①「ヨーロッパの地勢と国々」は、「地勢編」と「国々編」の2枚に分けて点図化した。地図中の首都名を削除し、凡例に移動した。山脈名、河川名、海洋名、半島名も一部削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
64	地図	変更	②「ヨーロッパの気候」は、「地中海性気候」「西岸海洋性気候」「冷帯・亜寒帯・ツンドラ気候」の区分で点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
65	地図	変更	③「ヨーロッパの主な言語」は、点図化し、各言語の「こんにちは」は別表にしてかなで表記した。	2 編集の具体的方針(1)による。
65	地図	変更	④「ヨーロッパの主な宗教」は、点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
65	グラフ	変更	⑤「ヨーロッパ各地雨温図」は、3枚とも点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
65	写真	削除	地理の窓の写真は削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
66	地図	変更	②「ヨーロッパの統合の進展」は、表にして年代順に示した。	2 編集の具体的方針(1)による。
66	グラフ	変更	④「世界の輸出額に占めるEUの割合」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。

			た。	による。
67	地図	変更	⑥「EU と周辺各国の一人当たり国民総所得」は、表 化した。国民一人当たりの国民総所得、国名の順で 示した。	2 編集の具体的方針(2)
68	グラフ	変更	②「ヨーロッパでの生産量が多い農作物の国別割 合」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1) による。
69	地図	変更	③「ヨーロッパの農業」は、「混合農業」「酪農・ 放牧」「地中海式農業・園芸・果樹」「森林・その 他」に区分し、点図化した。小麦・ぶどうは削除し た。	2 編集の具体的方針(1) による。
70	図	変更	②「分業による航空機生産のしくみ」は、「航空機 部品の製造国」を文章化した。「航空機部品の流 れ」は点図化し、上下左右に向かう矢印の流れを上 から下へと一本化した。	2 編集の具体的方針(1) による。
70	地図	変更	③「ドイツ・フランスの輸出貿易」は、数表化し た。	2 編集の具体的方針(1) による。
71	地図	変更	④「ヨーロッパの資源と工業」は、資源と工業で2 つに分けて点図化した。「ヨーロッパの資源」で は、「石油」「石炭」「鉄」を示した。「ヨーロッ パの工業」では、「パイプライン」「工業地域」 「主な工業都市」を示した。	2 編集の具体的方針(1) による。
71	表 グラフ	変更	⑥「EU 各国の1 か月あたりの最低賃金の比較」は、 数表化した。棒グラフは削除した。	2 編集の具体的方針(1) による。
73	グラフ	変更	⑤「各国の総発電量に占める再生可能エネルギーに よる発電の割合」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1) による。
73	図	変更	⑦「ヨーロッパの各国間の電力のやり取り」は、 「最大発電容量」を数表化した。「融通可能な最大 発電量」は削除し、矢印での各国のつながりのみを 文章で示した。	2 編集の具体的方針(1) による。
75	地図	変更	④「ロシアとその周辺の植生」は、点図化した。 「ステップ・砂漠」は、1 つにまとめて示した。	2 編集の具体的方針(1) による。
75	地図	変更	⑤「ロシアとその周辺の鉱工業の分布」は、2 枚に 分けて点図化した。 「ロシアとその周辺の鉱産資源」では、「石炭」 「石油」「鉄」を示した。「ロシアとその周辺の主 な工業都市」では、ウラジオストク、イルクーツ ク、サンクトペテルブルク、モスクワ、ミンスク (ベラルーシ)、キエフ(ウクライナ)と、「天然 ガス」「天然ガスパイプライン」を示した。	2 編集の具体的方針(1) による。

75	グラフ	変更	⑥「ロシア連邦の貿易」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
76	地図 文章	削除 変更	「1 学習したことを確認しよう」の地図は、削除し、原典教科書 64 ページの地図を参照にすることとした。また、文章を以下のように変更した。 【1 学習したことを確認しよう 1. 地図を使って確かめよう。なお、(1)～(7)は国名、ア。～カ。は山脈や河川などである。(p○～○) (1) ドイツ (2) フランス (3) ロシア (4) イギリス (5) オランダ (6) デンマーク (7) スペイン ア. 地中海 イ. アルプス山脈 ウ. 北海 エ. スカンディナヴィア半島 オ. ライン川 カ. ウラル山脈 2. 空欄にあてはまる語句を入れよう。 (1) ヨーロッパをながめて ア. 北西部：ゲルマン系言語＝英語、ドイツ語を使用。 イ. 南部：ラテン系言語＝フランス語、イタリア語を使用。 ウ. 東部：スラブ系言語＝ロシア語を使用。 ※ 宗教…主に(ア) 教：カトリック、プロテスタント、正教会 (2) ヨーロッパ連合 ア. 国同士の結束を強め、(イ) に・・ 以下、同様に続く】	2 編集の具体的方針(1)による。
77	文章	変更 削除	「2 学習したことを振り返ろう」の〔1〕の「各国の総発電量に占める再生可能エネルギーによる発電の割合」のグラフは数表化した。また、国名の入った回答欄は削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
77	文章 年表	変更 削除	「3 学習したことを活用してまとめよう」の文章と年表は、以下のように変更した。解答欄は、削除	2 編集の具体的方針(1)による。

		医	した。 【 次のヨーロッパ統合の歴史をまとめた年表中の 1. ～12. に語句を入れ、ヨーロッパ統合の良い 点と課題をまとめよう。 年表 1958年 ヨーロッパ経済共同体（EEC）発足 1967年 ヨーロッパ共同体（EC）発足 2度の世界大戦を反省し、国どうしの争いを避 け、戦後の復興については国境を越えて1. 協力していくなど、小さな国が結びつきを強める ことで2. に対抗しようとした。 1993年 ヨーロッパ単一市場発足 貿易にかかる2. が・・・以下同様に】	
78	地図	削除 変更	①「1960年頃のギニア湾沿岸の地図」は地図を 削除し、説明を以下のように表化した。 【現在の国名 1960年頃の国名 海岸名 資源（資源のある国のみ、その国の下段に示す） ナイジェリア ナイジェリア 奴隷海岸 ベナン ダホメ 奴隷海岸 トーゴ トーゴ 奴隷海岸 ガーナ ガーナ 黄金海岸 ダイヤモンド、金、マンガン コートジボアール 象牙海岸 象牙海岸 ダイヤモンド リベリア リベリア 穀物海岸 ダイヤモンド、鉄 シエラレオネ シエラレオネ 胡椒海岸 ブルキナファソ 上ボルタ （内陸国） 内陸から海岸まで続く鉄道が6本ほどみられま す。】	2編集の具体的方針(1) による。
79	地図	削除 変更	③「アフリカの国々の独立」は、地図を削除し、数 表化した。独立した年号、国名の順で示した。	2編集の具体的方針(1) による。
79	地図	削除 変更	④「アフリカ各国の公用語」は、地図を削除し、凡 例ごとに国名をリスト化した。	2編集の具体的方針(1) による。
79	地図	削除	⑤「スーダンと南スーダンの宗教」は、地図を削除 し、各宗教の割合のみ残した。	2編集の具体的方針(1) による。
80	地図	削除	地図を削除した。次ページの地図や地図帳にて国の 位置が確認できる。	2編集の具体的方針(1) による。

80	グラフ	削除	「世界の各州ごとの面積と人口」は第1巻に配置した。	2編集の具体的方針(1)による。
80	写真	削除	写真をすべて削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
81	地図	変更	「アフリカのハンガーマップ」は、点図化した。区分は、5%未満、5%以上15%未満、15%以上35%未満、35%以上とした。	2編集の具体的方針(1)による。
81	グラフ	削除	「世界人口に占める地域別構成人口比率の移り変わり」は、1960、1980、2000、2019、2000、2021年を数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
82	地図	変更	①「アフリカの地勢と国々」は、「地勢編」と「国々編」の2枚に分けた。地図中の首都名を削除し、凡例に移動した。山脈名、河川名、海洋名、半島名も一部削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
82	グラフ	変更	②「アフリカ各地の雨温図」は、3枚とも点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
83	地図	変更	③「アフリカの気候区分」は、「熱帯雨林気候」「サバナ気候」「ステップ・砂漠気候」「温帯の気候」の区分で示した。赤道を裏点で示した。	2編集の具体的方針(1)による。
83	地図	変更	④「アフリカの人口密度」は、点図化した。区分は、10人未満、10～100人未満、100人以上とした。	2編集の具体的方針(1)による。
84	グラフ	変更	②「カカオの生産量・輸入量の国別割合」は、数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
85	地図	変更	③「アフリカの農業」は、「1. 農業地域」「2. 主な農産物」の2枚に分けて点図化した。1. は「地中海農業」「かんがい農業」「その他(乾燥地域・湿潤地域)の農業」「森林」「砂漠」を示した。2. は「カカオ」「なつめやし」「ぶどう」を示した。それぞれ赤道は、裏点で表した。	2編集の具体的方針(1)による。
85	グラフ	変更	⑤「コートジボアール、ガーナの貿易品目」は、数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
85	写真	削除	地理の窓の写真は削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
86	グラフ	変更	②「主な鉱産資源の国別の生産割合」は、数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
87	地図	変更	③「アフリカの主な鉱産資源」は、点図化し「金」「鉄鉱石」「銅」「ダイヤモンド」「油田」「天然ガス」を表記し、他は削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
87	グラフ	変更	④「アフリカの国々の貿易品目」は、数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。

88	地図 文章	削除 変更	「1 学習したことを確認しよう」の地図は、削除し、原典教科書 82 ページの地図を参照にすることとした。また、文章を以下のように変更した。 【1 学習したことを確認しよう 1. 地図を使って確かめよう。なお、(1)～(7)は国名、ア。～カ。は山脈や河川などである。(p○～○) (1) アルジェリア (2) 南アフリカ (3) コートジボアール (4) ガーナ (5) スーダン (6) ケニア (7) ナイジェリア ア. サハラ砂漠 イ. ナイル川 ウ. 地中海 エ. ギニア湾 オ. ビクトリア湖 カ. コンゴ盆地 2. 空欄にあてはまる語句を入れよう。 (1). アフリカをながめて ア. 北部：世界最大のサハラ砂漠 イ. 東部：ナイル川が南から流れ、地中海に注ぐ。 ウ. 赤道付近：(ア) 気候・・・ 以下、同様に続く】	2 編集の具体的方針(1)による。
89	文章 図	変更	「3 学習したことを活用してまとめよう」の〔1〕の文章を以下のように変更した。また、図は点図化した。 【1. コートジボアールで…(中略)……A～Dに当てはまる内容を、次のア。～エ。から選んで答えよう。また、・・・(後略) ア. 子どもの労働力が必要になる。 イ. 技術・知識・情報を得にくい。 ウ. 子どもが教育を受けられない。 エ. カカオの収穫量が少なくなる。】	2 編集の具体的方針(1)による。
89	図	変更	図「アフリカ州への援助の例」は、点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。

90	地図	削除	地図を削除した。次ページの地図や地図帳にて国の位置が確認できる。	2 編集の具体的方針(1)による。
90	グラフ	削除	「世界の各州ごとの面積と人口」は第 1 巻に配置した。	2 編集の具体的方針(1)による。
90	写真	削除	写真をすべて削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
90	グラフ	変更	表「日本の主な輸入品の輸入先」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
91	写真	削除	写真をすべて削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
92	地図	変更 削除	①「北アメリカの地勢と国々」は、「地勢編」と「国々編」の 2 枚に分けた。地図中の首都名を削除し、凡例に移動した。山脈名、河川名、海洋名、半島名も一部削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
92	文章	変更	ゆうまのセリフを以下のように変更した。 【第 1 巻〇～〇ページの資料を使って、ヨーロッパの国々と大きさを比較してみよう。】	2 編集の具体的方針(1)による。
92	グラフ	変更	②「北アメリカの各地の雨温図(1)」は、3 枚とも点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
93	地図	変更	③「北アメリカの各地の気温と降水量の分布」は、点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
93	地図	変更	④「北アメリカの気候区分」は、点図化した。区分は、「熱帯」、「乾燥帯」、「温帯」、「冷帯」「寒帯」とした。	2 編集の具体的方針(1)による。
93	グラフ	変更	⑥「北アメリカの各地の雨温図(2)」は、3 枚とも点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
94	グラフ	変更	③「主な農畜産物の生産量と輸出量の国別割合」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
95	地図	変更	④「アメリカ合衆国とカナダの農業地域」は、「園芸農業」「綿花」「とうもろこし・だいず」「酪農」「小麦」「放牧」の区分と年間降水量 500 mm 線を示して点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
96	写真	削除 変更	②「シリコンバレーに集まる企業」は、写真を削除し、以下の説明を追加した。 【(Apple 社、Google 社、Intel 社)】	2 編集の具体的方針(1)による。
96	グラフ	変更	③「主な国の研究費と技術貿易」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
97	地図	変更	④「アメリカ合衆国とカナダの鉱産資源と工業都市」は、「石油・天然ガス」を示すこととし、「石	2 編集の具体的方針(1)による。

			炭」「原油パイプライン」「天然ガスパイプライン」「鉄」「銅」を削除した。主な工業都市は、デトロイト、ピッツバーグ、サンフランシスコ、シリコンバレー、ケンタッキー州、テネシー州を示した。サンベルトは、地図中に文字で示した。	
98	グラフ	変更	②「各国にみる人口 100 人当たりの自動車保有台数」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
99	地図	変更	④「アメリカのハンバーガー会社に見る国・地域との店舗数」は、多い国順に数表化した。その他の国・地域の店舗数は、「500 店～1000 店未満」と「100 店～500 店未満」の国名をリスト化して示した。「100 店未満」は国と地域の数(55)のみ示した。写真は削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
100	地図	変更	①「アメリカ合衆国の州別・主な都市圏別の人口構成」は、「アフリカ系（黒人）の割合」「ヒスパニックの割合」が各々30%以上の州のみを塗り示した。	2 編集の具体的方針(1)による。
100	グラフ	変更	②「アメリカ合衆国の人口構成」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
101	写真	削除	地理の窓の写真は削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
102	地図 文章	削除 変更	「1 学習したことを確認しよう」の地図は、削除し、原典教科書 92 ページの地図を参照にすることとした。また、文章を以下のように変更した。 【1 学習したことを確認しよう 1. 地図を使って確かめよう。なお、(1)～(5)は国名、ア。～キ。は山脈や河川などである。(p○～p○) (1) カナダ (2) メキシコ (3) パナマ (4) キューバ (5) ジャマイカ ア. ロッキー山脈 イ. ミシシッピ川 ウ. 五大湖 エ. アパラチア山脈 オ. フロリダ半島 カ. メキシコ湾 キ. カリブ海	2 編集の具体的方針(1)による。

			2. 空欄にあてはまる語句を入れよう。 (1) 北アメリカをながめて ア. 北緯40度より北: (ア) などが広がる冷帯、北極圏は寒帯。 イ. 北緯40度より南: (イ) 違い・・・ 以下、同様に続く】	
103	文章	変更	「2 学習したことを振り返ろう」は、文章を以下のように変更した。 【1. アメリカ合衆国が世界有数の…(中略)…整理した。ア. ～オ. にあてはまる言葉を答えよう。 背景1 A 自然環境に応じて、消費地となる… …(中略)…B 労働力などを生かして ア. が行われている。 A 自然環境に応じてに関して 年間降水量 イ. mmの東側…(略) B 労働力などを生かしてに関して 20世紀以降、ウ. とよばれる…(略) 2. アメリカ合衆国で盛んな工業を二つ挙げ、その工業が盛んな場所と盛んな理由について、整理しよう。】	2 編集の具体的方針(2)による。
104	地図	削除	地図を削除した。次ページの地図や地図帳にて国の位置が確認できる。	2 編集の具体的方針(1)による。
104	グラフ	削除	「世界の各州ごとの面積と人口」は第1巻に配置した。	2 編集の具体的方針(1)による。
104	写真	削除	写真をすべて削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
104	地図	移動 削除 変更	「アンデス山脈中の主な高山都市」は、p 107「地理の窓」「アンデス山脈の恵み～高山都市と食文化」の後に移動し、地図を削除し、以下のように変更した。 【標高2700m以上、人口10万人以上の都市 エクアドル キト 2794m リオバンバ 2750m コロンビア チリ ペルー アヤクチョ 2746m、 カハマルカ 2720m	2 編集の具体的方針(1)による。

			クスコ 3399m プノ 3824m フリアカ 3824m ワラス 3091m ワンカヨ 3249m ボリビア エルアルト 4000m オルロ 3706m スクレ 2840m ポトシ 4090m ラパス 4058m 】	
105	写真	削除	写真をすべて削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
105	地図	変更	「アマゾン川の流域」は、点図化した。日本と国境線、川は削除し、アマゾン川の流域を示した。	2 編集の具体的方針(1)による。
106	地図	変更	②「南アメリカの地勢と国々」は、「地勢編」と「国々編」の2枚に分けた。地図中の首都名を削除し、凡例に移動した。山脈名、河川名、海洋名、半島名も一部削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
106	グラフ	変更	③「南アメリカ各地の雨温図」は、3枚とも点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
107	地図	変更	④「南アメリカの気候区分」は、「熱帯」「サバナ」「ステップ・砂漠」「地中海性・温暖湿潤・西岸海洋性気候」に区分して点図化した。「ツンドラ気候」と「高山気候」は記号で表した。	2 編集の具体的方針(1)による。
107	写真	削除	地理の窓の写真は削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
108	地図	変更	②「南アメリカ各国の主な言語と人口構成」は、「南アメリカ各国の主な言語」と「南アメリカ各国の人口構成」に分けて数表化した。「南アメリカ各国の人口構成」は、人口の多い順に示した。	2 編集の具体的方針(1)による。
109	地図	削除 変更	④「コーヒー豆を生産・輸入している主な国と地域」は、地図を削除し、上位から順に数表化した。また、文章を以下の通り追加した。 【南・北回帰線の…（中略）…ブラジルは世界有数のコーヒー生産国です。その他の国も地図で確認してみましょう。 1 コーヒー豆生産国・地域と生産量 ブラジル ○ t ベトナム ○ t	2 編集の具体的方針(1)による。

			コロンビア ○ t インドネシア ○ t . . . 2 コーヒー豆輸入国・地域と輸入量 アメリカ ○ t ドイツ ○ t イタリア ○ t 日本 ○ t . . . 以下、同様に続く】	
110	写真	削除追加	①「宇宙からとらえたアマゾン川流域の開発の様子」の写真は削除し、以下の説明を追加した。 【2019年の写真は、1989年の写真に比べ、緑の部分が減少しています。】	2 編集の具体的方針(1)による。
110	グラフ	変更	②「州ごとにみる森林面積の変化」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
111	地図	変更	⑤「世界の森林面積の変化」は、地図を削除し、「1年あたりの森林面積」の「減少が著しい国」、「増加している国」を上位から順に数表化した。また、それぞれの国が属する州（アジア州に関しては、地域も）を記した。	2 編集の具体的方針(1)による。
112	地図	変更	①「南アメリカの鉱産資源と、主な国の輸出品目構成」は、「南アメリカの資源」を点図化した。「一人当たりの国民総所得（GNI）」は、表形式で区分ごとに国名を示した。「主な国の輸出品構成」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
112	グラフ	変更	②「ブラジル、ベネズエラの輸出品の移り変わり」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
113	グラフ	変更	⑤「ブラジルの総人口と都市人口の割合の変化」は、点図化した。その際、横軸は20年間隔に変更し、縦軸は最高値を3億人に変更した。	2 編集の具体的方針(2)
114	文章	変更	「1 学習したことを確認しよう」の地図は、削除し、原典教科書106ページの地図を参照にすることとした。また、文章を以下のように変更した。 【1 学習したことを確認しよう 1. 地図を使って確かめよう。なお、(1)～(5)は国名、ア。～オ。は山脈や河川などである。（p ○～○） (1) ブラジル (2) アルゼンチン (3) チリ	2 編集の具体的方針(1)による。

			(4) ボリビア (5) ベネズエラ ア. アンデス山脈 イ. アマゾン川 ウ. ギアナ高地 エ. ブラジル高原 オ. ラプラタ川 2. 空欄にあてはまる語句を入れよう。 (1) 南アメリカをながめて ア. アンデス山脈 (大陸西部を・・・ イ. 大陸北部の (ア) 付近・・・ 以下、同様に。】	
115	図	変更	「3 学習したことを活用してまとめよう」は、ゆうまのセリフを先にし、あおいのセリフの後に、「フィッシュボーンを使って考えよう」の説明文と、「フィッシュボーン」の形が分かるように点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
116	地図	削除	地図を削除した。次ページの地図や地図帳にて国の位置が確認できる。	2 編集の具体的方針(1)による。
116	グラフ	削除	「世界の各州ごとの面積と人口」は第1巻に配置した。	2 編集の具体的方針(1)による。
116	写真	削除	写真をすべて削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
117	図 文章	削除 変更	「オセアニアの国々の国旗」は、国旗の図を削除し、あおいのセリフを以下のように変更した。 【オーストラリア、ニュージーランド、ツバル、クック諸島の国旗には、共通して左上にイギリスの国旗が描かれているよ。どうしてかな。】	2 編集の具体的方針(1)による。
117	写真	削除	写真をすべて削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
117	文章	変更	ミゲルのセリフを、以下のように変更した。 【オーストラリアの年表中の区分A～Cにあてはまるタイトルを、次のア.～ウ. から選んでみよう。 ア. 白人以外の移民の制限 イ. 移民の始まり ウ. さまざまな文化を尊重】	2 編集の具体的方針(1)による。
117	表	変更	「オーストラリアの年表」は、以下のように変更した。 【区分なし 約 40000 年前 先住民アボリジニが渡来	2 編集の具体的方針(1)による。

			区分 A 1770 年 クック（イギリス人）が・・・（略） 1851 年 金が発見・・・（略） 区分 B 1901 年 オーストラリア連邦が・・・ 以下、同様に続く】	
118	地図	変更	①「オセアニアの地勢と国々」は、「地勢編」と「国々編」の 2 枚に分けた。地図中の首都名を削除し、凡例に移動した。山脈名、河川名、海洋名、半島名も一部削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
118	グラフ	変更	②「オセアニアの各地の雨温図」は、3 枚とも点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
120	グラフ	変更	③「オーストラリアと、ニュージーランドの輸出品の変化」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
121	地図	変更	④「オーストラリアの降水量と農業地域」は、「オーストラリアの農業地域」と「オーストラリアの降水量」の 2 枚に分けて点図化した。農業地域は、「牧羊」「牧牛」「主に小麦などの穀物」「非農業地域」の区分で示した。	2 編集の具体的方針(1)による。
121	地図	変更	⑤「オーストラリアの資源と工業」は、点図化した。天然ガスと原油のパイプラインは削除した。工業都市は、ケアンズ、ブリスベン、シドニー、キャンベラ、メルボルン、パース、ポートヘッドランドを示した。	2 編集の具体的方針(1)による。
122	地図	変更	①「オーストラリアへの移民の出身国別人口の移り変わり」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
122	地図	変更	②「日本からオセアニアへの訪問客数」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
123	地図	変更	③「オーストラリアの貿易相手先とその変化」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
123	写真	削除 追加	④「日本統治時代の建物を利用した最高裁判所と、日本語の名残が残る道路沿いの看板」の写真を削除し、以下の説明を追加した。 【道路沿いの看板には、コーヒーなどの英語に混じって、ローマ字で RAMEN、BENTO などの表示が見られます。】	2 編集の具体的方針(1)による。
124	文章	変更	「1 学習したことを確認しよう」の地図は、削除し、原典教科書 118 ページの地図を参照にすることとした。また、文章を以下のように変更した。	2 編集の具体的方針(1)による。

			【1 学習したことを確認しよう 1. 地図を使って確かめよう。なお、(1)～(4)は国名、ア。～エ。は山脈や河川などである。(P○～P○) (1) オーストラリア (2) ニュージーランド (3) サモア (4) パラオ ア. グレートアーテジアン(大鑽井)盆地 イ. グレートサンディー砂漠 ウ. グレートディバイディング山脈 エ. ニューギニア島 2. 空欄にあてはまる語句を入れよう。 (1) オセアニアをながめて ア. 太平洋の島々は、次の3つの地域に分かれる。 (ア) : 意味「黒い島々」 (イ) : 意味「たくさんの島々」 (ウ) : 意味「小さい島々」 火山の島々と(エ) の島々の2種類。 イ. ヨーロッパからの・・・ (2) 産業と国の成り立ち ア. オーストラリア: 先進国 環境に配慮した・・・以下、同様に】	
125	文章	変更	「3 学習したことを活用してまとめよう」の文章を、以下のように変更した。 【 観光はオセアニアにとって…(中略)…人々がどのようなことを感じているか、次の3つの立場になって想像し、グループで話し合おう。 1. 先住民の人々 2. ウルル付近のホテルの経営者 3. ウルルに来た観光客	2 編集の具体的方針(1)による。
126	表	変更	①「国別にみた日系人数」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
127	表	変更	④「国籍(出身地)別外国人の割合」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
128	配置	移動	P. 128～131 は、第1巻に配置した。	2 編集の具体的方針(1)による。

128	地図	変更	地図「夏季オリンピックの開催国・都市の分布」は、「開催都市のリスト」「開催国の地域別リスト」の2枚の表に分けて示した。	2編集の具体的方針(2)による。
128 ～129	地図 本文	削除 変更	『宇宙からとらえた日本列島』 地図自体は削除し、セリフを通じて解説する。最初に解説文を付加する。 【「日本列島を宇宙からとらえた写真があります。日本列島の特徴のある場所を、一緒に見ていきましょう。」以下、①～⑭を解説する。】 文章は視覚的表現に配慮し、一部文言を変更した。	2編集の具体的方針(1)による。
130	地図	削除 変更	「日本の世界遺産の分布」 地図は削除し、世界遺産を北から順に並べることとした。	2編集の具体的方針(1)による。
132	地図	変更	②「愛知県名古屋市の位置」は、愛知県の県域と名古屋市の位置がわかるように点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
135	地図	削除	③「地域の浸水状況図」は地形図からの読み取りは困難なため、地図を削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
136 ～137	地図	削除	②「20万分の1地勢図「名古屋」」③「5万分の1地形図「名古屋北部」」④「2万5千分の1地形図」⑤「1万分の1地形図「名古屋北部」」⑧「学校の周りの様子(地形図)」はいずれも点図での表記が困難なため、地図を削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
136	地図 記号	削除 変更	①「主な地図記号」は、代表的なものとして以下の12個のみを点図で示した。 【市役所、官公署、裁判所、小中学校、寺院、史跡・名勝・天然記念物、高塔、電波塔、果樹園、荒地、広葉樹林、針葉樹林】	2編集の具体的方針(1)による。
136	文章	変更	あおいのセリフを、以下のように変更した。 【庄内川は、市の中心部を囲むように流れているよ。】	2編集の具体的方針(1)による。
137	THINK	変更	「THINK!」は、地形図と対照しなくても計算ができるように表記・表現を変更した。	2編集の具体的方針(1)による。
137	表	変更	⑦「縮尺による地形図上の長さと実際の距離」は、数直線は削除し、「1cm=250m」「1cm=500m」と表記する。	2編集の具体的方針(1)による。
138	地図	削除	②「小里川ダムの位置」③地図「小里川ダム周辺の様子」(地形図)は作図困難のため削除した。(Qも含む。)	2編集の具体的方針(1)による。

139	地図 図	削除 変更	「地理の技：地形図から断面図を作ろう」中の図は、次の通りとした。 【1) 断面図として作成した地図 2) サーモフォームで作成した、高さの差がわかる図】	2 編集の具体的方針(1)による。
139	地図	削除	⑦「昔の地形図」⑧地図「現在の地形図」はいずれも点図での表記が困難なため、地図を削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
139	地理 の技	変更	新旧地形図が関係するため、以下の通り内容を変更した。 【①交通や土地利用に注目して、昔の地形図を観察する。 ②同じように、交通や土地利用注目して、現在の地形図を観察する ③新旧の地形図を比べて、変化したことと、変化していないことについて、それぞれまとめる。】	2 編集の具体的方針(1)による。
141	地図	削除	④「洪水ハザードマップ」は地形図からの読み取りは困難なため、地図を削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
142	地図	変更	①「市域の拡大」は、要素を精選して地図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
142	グラフ	変更	②「市の人口の変化」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
142	表 グラフ	変更	③「市の人口構成の変化」は、数表化し、人口ピラミッドを完成させた状態で示した。	2 編集の具体的方針(1)による。
143	図	変更	④「イラストマップ」は要素を精選した状態で地図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
145	地図	変更	「都道府県ごとに見たコンビニエンスストアの店舗数」の地図は、各都道府県で最も店舗数の多い会社を各社ごとに記載した。	2 編集の具体的方針(1)による。
146 147	地図	削除 変更	①地図「都道府県別の人口分布」、②地図「都道府県別の在留外国人分布」、③地図「都道府県別の工業生産額の分布」はいずれも数表化し、③に示された太平洋ベルトは削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
146	地図	変更	④「日本の気候区分」は点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
147	地図	削除 変更	⑤「各地の雑煮に入れる餅の形の分布」、⑥「鉄道会社（JR）の営業地域」、⑦地図「地方ごとの季節予報を発表するときの気象庁の地域区分」はいずれも数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。

149	地図	変更	③「世界で起こった主な地震の震源と火山の分布」は、二つの造山帯が帯として理解できるよう配慮して作成し、主に火山の位置を示した。	2 編集の具体的方針(1)による。
149	地図	変更	「地理の窓：日本では地震が多いのはなぜなのか」中の「日本付近のプレート」の図は、二枚の点図として示し、日本周辺のプレートとその断面を明確にした。	2 編集の具体的方針(1)による。
150	地図	変更	②「日本の主な山脈・山地と、火山の分布」は、フォッサマグナでわけた、東北日本と西南日本の二枚の点図として示した。	2 編集の具体的方針(1)による。
151	地図	変更	⑦「日本列島周辺の海と海流」は、海溝と海流の区別がつくように点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
152	図	変更	①「日本と世界の主な川の比較」は、常願寺川、木曽川、セーヌ川、メコン川のみ点図化し、残りの川については数表で示した。	2 編集の具体的方針(1)による。
152	地図	削除 変更	②「日本の主な平野と川の分布」は、「平野・盆地」と「川」を別にして2枚の地図を作成した。	2 編集の具体的方針(1)による。
153	図	変更	⑥「河川と平野の地形」は、地形の変化を明確にするため、サーモフォームを利用して点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
154	地図	変更	②「サクラが開花時期のちがい」は開花時期がはっきりわかるよう点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
155	図	変更 削除	③「冬と夏の季節風」は、説明により模式図の意図が理解できるので、図は削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
155	地図	削除	④「日本の気候区分」は、再掲となるので、本ページでは削除した。(参照ページを明示する)	2 編集の具体的方針(1)による。
155	グラフ	変更	⑤「日本各地の雨温図」は、それぞれの都市のグラフを点図化した。④の関係を意識した。	2 編集の具体的方針(1)による。
156	地図	変更 削除	②「日本周辺の主な地震と活断層の分布図」は、地震の震央と活断層の区別がつくように点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
157	地図	変更	⑥「南海トラフ地震の震源を予測した地図」は、南海トラフと予想震源域に特化した内容で点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
158	地図	変更	①「富士市が作成した津波避難マップ」は地形と吉原駅の位置が分かるように点図化した。地形の高さを示すためにサーモフォームを用いた。	2 編集の具体的方針(1)による。
158	関係図	変更	②「被災した地域を支援する公的なしくみ」は、被災地との関連性に配慮して、表にした。	2 編集の具体的方針(1)による。

159	図	変更 削除	③「有珠山火山防災マップ」は、削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
160	地図	削除 変更	①「世界の人口密度」は、5つの階級のうち、数の少ない2階級を「10人未満」に統合して点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
160	グラフ	変更	②「世界の人口の変化」は、年号がわかるように明確化して点図化し、「かかった年数」の資料は別に数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
160	図	削除 変更	③「各国からみた人口密度の違い」は数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
161	グラフ	変更	④「国別の人口構成の例」および⑤「日本の人口構成の変化」は点図化した。なお、各グラフ内の人口構成の分布は数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
161	グラフ	変更	⑥「日本の年齢別の人口割合の変化」は数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
162	地図	変更	①「日本の人口密度の分布」は、4階級のうち、数の少ない2階級を「300人未満」に統合して点図化した。 また、政令指定都市は別に表形式で示した。	2 編集の具体的方針(1)による。
162	グラフ	変更	②「三大都市圏への人口集中」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
162	地図	変更	③「東京圏・大阪圏への人口移動」は、「〇〇から」が明確になるように数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
163	地図	変更	④「都道府県別の人口増減率」⑤地図「将来の都道府県別の老年人口率」は、階級ごとに都道府県数と都道府県名を示し、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
163	図	変更	⑥「過疎の地域と過密の地域の年齢別人口構成」は、2枚の人口ピラミッドに分けてグラフで示した。	2 編集の具体的方針(1)による。
164	グラフ	削除	①「日本が輸入する主な資源の輸入先」は数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
164	地図	削除 変更	②「世界の鉱産資源の分布」の図は、本文に関わる石油、石炭、鉄鉱石の分布のみ図示した。	2 編集の具体的方針(1)による。
164	グラフ	変更	③「原油・石炭・鉄鉱石の国別生産割合」は数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
165	グラフ	変更	④「主な国の発電量の内訳」は数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。

地理	165	地図 グラフ	変更	⑤「日本の主な発電所の分布」は、要素を集約して点図化した。「日本の発電量の内訳」のグラフは数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
	166	地図	変更	①「都道府県別にみた日本の産業活動とその立地」は、3枚の図（農業生産額、製造品出荷額、年間商品販売額）について階級ごとに都道府県名を表形式で示した。	2編集の具体的方針(1)による。
	166	グラフ	変更	②「日本の産業別人口構成の割合の変化の移り変わり」は数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
	167	地図 グラフ	変更	③「日本の主な工業地帯・工業地域と出荷額の割合」は、「日本の主な工業地帯・工業地域の地域構成と出荷額の割合」と前半の標題を変更し、その部分のみ表形式で示し、地図は削除した。工業出荷額の割合は別の表で示した。	2編集の具体的方針(1)による。
	168	地図	変更	①「GIS（地理情報システム）を利用して作成した、都道府県別の外国人宿泊者数を表した地図」は、表形式で示した。	2編集の具体的方針(1)による。
	168	グラフ	変更	③「日本人出国者数と外国人の来日者数の移り変わり」はグラフで示した。	2編集の具体的方針(1)による。
	169	地図	変更	④「日本の高速交通網の移り変わり」は新幹線と航空について、それぞれ年代別に地名が記されているものを表形式で示した。	2編集の具体的方針(1)による。
	169	グラフ	変更	⑤「国内の貨物輸送量の移り変わり」は数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
	172	地図	削除	このページの地図を削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
	172	グラフ	削除	「日本の各地方別の面積と人口」は削除し、第1巻に記載した。	2編集の具体的方針(1)による。
	174	地図	削除	①「九州地方の位置」の地図を削除し、表にした。	2編集の具体的方針(1)による。
	176	文章	変更	Qの文章を以下のように変更した。 【福岡市から大阪、東京、ソウル、シヤンハイ、ペキンまでの距離を調べてみよう。また、福岡市・対馬（長崎県）間と、対馬・朝鮮半島間の距離を調べてみよう。】	2編集の具体的方針(1)による。
	175	地図	変更 追加	④「九州地方の地勢と各県」は、地勢と各県・各市の2つの要素に分け2枚の点図にした。また、地勢の地図に「奄美群島」の文字を追加した。	2編集の具体的方針(1)による。

175	グラフ	変更	⑤「九州地方各地の雨温図」は3枚とも点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
177	地図	変更	④「九州地方南部のシラスの分布」は、点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
177	地図	変更	⑤「九州地方の火山の分布」は、火山の位置のみ点図化し、火山名は表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
178	吹き出し	変更	「茶色の農地では、何が栽培されているのかな。」を「平野には緑色や茶色の農地が広がっているよ。茶色の農地では、何が栽培されているのかな。」に変更した。	2編集の具体的方針(1)による。
178	グラフ	変更	③「家畜・野菜の都道府県別の生産割合」は数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
179	図	削除	地理の窓の図「鶏ふんを活用した循環型のエコシステム」及びキャプションを削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
180	表	変更	地理の窓の表「四大公害病」を以下のように文章化した。 【イタイイタイ病（富山県）は、鉱山から神通川流域に流されたカドミウムによる水質汚濁が主な原因で、1910年代から、神通川下流で発生していたと推定されている。 水俣病（熊本県・鹿児島県）は、工場廃液の中の水銀などによる水質汚濁が主な原因で、1953年ごろから、水俣湾で集団的に発生した。 四日市ぜんそく（三重県）は、コンビナート工場群が排出した亜硫酸ガスによる大気汚染が主な原因で、1960年ごろから、四日市市で発生した。 新潟水俣病（新潟県）は、工場廃液の中の水銀などによる水質汚濁が主な原因で、1964年ごろから、阿賀野川下流で発生した。】	2編集の具体的方針(1)による。
180	写真	追加	①「洞海湾の移り変わり」に、 【（1）の写真は、海水が黄色に変色しています。】という説明を追加した。	2編集の具体的方針(1)による。
181	グラフ	変更	③「福岡県の工業生産の変化」は数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
181	地図	変更	④「九州地方の主な工業の分布」は、鉄鋼、IC、自動車、高速道路を地図上に示して点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
182	地図	変更	③「沖縄県の土地利用」は、住宅地などと軍用地を地図上に示して点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。

183	グラフ	変更	⑥「沖縄県の観光客数と観光収入の移り変わり」は、入域観光客数を点図化、観光収入を数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
184	文章	変更 削除	1 「学習したことを確認しよう」の地図は、削除し、原典 175 ページの地図を参照にすることとした。また、文章を以下のように変更した。 【1 学習したことを確認しよう 1. 地図を使って確かめよう。 ア 筑紫山地 イ 九州山地 ウ 筑紫平野 エ 熊本平野 オ 阿蘇山 カ 桜島（御岳） キ 筑後川 ク 球磨川 ケ 奄美群島 コ 沖縄島 サ 種子島 シ 与那国島 2. 空欄にあてはまる言葉を入れよう。 （1）九州地方をながめて ア. 位置…（ア） に近い。 イ. 特色ある地形…（イ） 。 例. 阿蘇山のカルデラなど。 ウ. 気候…温暖。（ウ） の接近で自然災害も。 （2）（イ）と暮らし ※ 以下、同様に続く】 3. 表を使って作業しよう。 「A. 生産割合を示した…着色しよう。」を削除した。 「B. 各畜産物の全国生産量に…完成させよう。」を【原典 P178 の表「家畜・野菜の都道府県別の生産割合」のうち「肉用牛」・「豚」・「肉用若鳥（ブロイラー）」の表を使い、各畜産物の全国生産量に占める九州地方の割合（％）とそれぞれの頭数や羽数のおおよその数を計算しよう。】と変更した。	2 編集の具体的方針(1)による。

185	表	削除 変更	「2 学習したことを振り返ろう」は表を削除し、文章を変更した。 【1. 次に示した九州地方で特徴的な…プラス面とマイナス面に分けて書き出そう。2. 九州地方の工業・観光について、「歴史的な流れ」「現在の状況」の二つの観点と、「自然環境の保全」についてまとめよう。】	2 編集の具体的方針(1)による。
185	文章	変更	「3 学習したことを活用してまとめよう」の文章を変更した。 【次の2点について、自分なりにまとめて、グループで共有しよう。】	2 編集の具体的方針(1)による。
184	文章	変更	「ワードチェック」の文章を「学習してきた次の言葉を説明できるようにしよう。」と変更した。	2 編集の具体的方針(1)による。
188	地図	削除 変更	②「朝鮮通信使の主な行路」の地図は削除し、文章に変更した。 【漢城（現在のソウル）を出発し、釜山から対馬海峡を渡り、下関、鞆の浦を通り江戸に向かいました。】	2 編集の具体的方針(1)による。
188	地図	変更	③「中国・四国地方の人口分布」は、県境を削除し、各県庁所在地周辺を中心に人口分布を示し、点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
189	地図	変更 追加	④「中国・四国地方の地勢と各県」は、地勢と各県・各市の2つの要素に分け2枚の点図にした。また、各県・各市の地図に馬路村と上勝町を追加した。	2 編集の具体的方針(1)による。
189	グラフ	変更	⑤「中国・四国地方の雨温図」は3枚とも点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
190	本文 10	変更	本文「軍隊の記号（★や☆）を読み取ることができます。」を【軍隊の記号（丸に星や星）がえがかれています。】に変更した。	2 編集の具体的方針(1)による。
190	LOOK!	変更	冒頭部分を以下のように変更した。 【昔の広島市を示した古い地形図からは、当時の様子がわかり、現在の地形図と比べることで地域の変化を捉えることもできます。古い地形図には空白の地域が多くみられ、人があまり生活していないことがわかります。】	2 編集の具体的方針(1)による。

190	地図	削除	①「1898 年ごろの広島市」は削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
190	吹き出し	変更	「…右から読むんだね。」を「…右から読むよ。」に変更した。	2 編集の具体的方針(1)による。
190	グラフ	変更	②「広島市の人口・面積の変化」は、グラフ中の年号と出来事は表化した。人口の変化の折れ線グラフは点図化し、面積の棒グラフは数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
191	地図	削除 変更	③「1950 年ごろ、2019 年ごろの広島市」は、タイトルを「2019 年ごろの広島市」に変更し、1950 年ごろの地図を削除した。地図上に太田川、広島城、平和大通、原爆ドーム、平和公園、相生橋を示した。キャプションを以下の通り変更した。 【原爆はTの形をした相生橋を投下目標として落とされました。広島城から紙屋町周辺の畑が広がっていたところには、県庁や市民病院、合同庁舎などが建てられています。】	2 編集の具体的方針(1)による。
193	地図	変更	④「中国・四国地方の市区町村別の人口増減率の変化」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
193	THINK !	変更	文章を以下のように変更した。 【1. 資料4の2015年～2020年の表で、人口が増加傾向にある地域はどこかを答えよう。 2. 資料4の二つの表を比べて、人口が減少している地域と地形との関係を答えよう。】	2 編集の具体的方針(1)による。
194	地図	削除 追加	②「高知県馬路村・徳島県上勝町の位置」は削除し、原典 189 ページの地図を参照にすることとした。また、以下の追加説明を加えた。 【馬路村は高知市から東へ 50 k m ほど行った、徳島県との県境にある山あいの村です。上勝町は徳島市から南西に 20 k m ほど行った山あいの町です。】	2 編集の具体的方針(1)による。
194	グラフ	変更	③「馬路村の人口の変化と人口構成」は2枚とも点図化した。また、「1.人口構成」「2.馬路村の人口の変化」に順番を変更した。	2 編集の具体的方針(1)による。
195	グラフ	変更	⑥「上勝町の人口構成」は点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
196	地図	削除 変更	①「本州四国連絡橋のルート」は削除し、表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。

197	地図	変更	⑤「中国・四国地方の交通網の変化」は、高松市から3時間程度で到達できる範囲を1枚の地図に表し、高速道路は2019年のものを地図上に表した。	2編集の具体的方針(1)による。
197	グラフ	変更	⑥「本州・四国間の高速バスの輸送客数の変化」は数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
198	文章	変更 削除	1 「学習したことを確認しよう」の地図は、削除し、原典 189 ページの地図を参照にすることとした。また、文章を以下のように変更した。 【1 学習したことを確認しよう 1. 地図を使って確かめよう。 ア 中国山地 イ 四国山地 ウ 讃岐平野 エ 高知平野 オ 太田川 カ 吉野川 キ 四万十川 ク 宍道湖 ケ 隠岐諸島 コ 竹島 サ 室戸岬 2. 空欄にあてはまる言葉を入れよう。 (1) 中国・四国地方をながめて ア. 北から三つに分かれる…(ア) 地方、 (イ) 地方、(ウ) 地方。 (イ) 海…九州地方への交通路として発達(=人口集中)。 ※ 以下、同様に続く】 「雨温図を作成しよう」を【3. 雨温図を活用しよう】に変更し、文章を【次の高松の雨温図と「松江」「高知」の雨温図と比べ、どのような違いがあるかまとめよう。】とした。 高松の表は削除し、完成した雨温図を載せた。また、「松江」「高知」の雨温図は原典 P 189 と同様の雨温図を再掲した。	2編集の具体的方針(1)による。
199	表	変更	2「学習したことを振り返ろう」は文章を以下のように変更した。	2編集の具体的方針(1)による。

			【 1. 中国・四国地方の人口が集中している地域と人口が減少している地域の「地形」と「交通網」の特徴をそれぞれ調べ、まとめよう。 2. 中国・四国地方中枢都市である広島市を例にして、人口が増加することのプラス面、マイナス面について考え、まとめよう。考えや意見を整理するために「バタフライチャート」とよばれる思考ツールを用いることがあります。】 また、バタフライチャートは点図化した。	
200	地図	削除 変更	①「過疎地域の分布と、高齢者が人口の半分以上を占める集落数の移り変わり」は地図を削除し、集落数の移り変わりを数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
201	図	変更	② 「『関係人口』のイメージ」は、次のように文章化した。 【 次の1～3の項目のうち数字が大きくなるにつれて、地域との関わりは強くなる。 1. 交流人口 あ. ほとんど関わりがない人 2. 関係人口 あ. 地域との間を行き来する人 い. 地域と何か関わりがある人（かつてそこで勤務、かつてそこで生活、かつてそこで滞在など） う. 地域内にルーツがある人 （関係人口を生み出す事例） あ. 仕事ベースで関わる（兼業・副業やテレワーク） い. ファンベースで関わる（イベントへの参加、ふるさと納税、オーナー制度〔土地、農産物〕など） う. 学校単位（小中学校・高校）で関わる（留学、民泊、体験学習、地域が抱える課題を共に考えるなど） 3. 定住人口 あ. 定住者（住民）】	2 編集の具体的方針(1)による。
204	地図	削除 追加	③「主な都の移り変わりと古い国名」は削除し、次の文章を追加した。 【畿内五カ国の現在の位置	2 編集の具体的方針(1)による。

			大和（奈良県）、河内（大阪府東部）、摂津（兵庫県東部）、山城（京都府南部）、和泉（大阪府西部）】	
205	地図	変更	④「近畿地方の地勢と各府県」は、地勢と各府県・各市の2つの要素に分け2枚の点図にした。	2編集の具体的方針(1)による。
205	グラフ	変更	⑤「近畿地方の気温の雨温図」は4枚とも点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
205	地図	変更	⑥「近畿地方の人口分布」は、県境を削除し、各県庁所在地周辺を中心に人口分布を示し、点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
206	地図	削除	②「平安京の大路と現在の市街地」は削除した。	2編集の具体的方針(1)による。
207	図	変更	⑤「京町家の間取りの例」は点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
208	グラフ	変更	②「東大阪市の製造業」は数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
208	グラフ	変更	③「日本の工業地帯・地域の生産割合の変化」は数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
209	地図	変更	④「日本の主な製鉄工業の分布の変化」は表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
209	地図	変更	⑤「近畿地方の主な工業都市の分布」は、播磨臨海工業地域、堺・泉北臨海工業地域、県庁所在地を点図化し、工業生産額が1兆円以上の都市を表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
210	LOOK!	変更	冒頭部分を以下のように変更した。 【資料1の写真は、大阪の北の玄関口、梅田にある大阪駅です。…】	2編集の具体的方針(1)による。
210	グラフ	変更	③「卸売業の年間所品販売額に占める東京都・大阪府・愛知県の割合の変化」は、グラフは点図化し、数値は数表化して併記した。	2編集の具体的方針(1)による。
211	地図	変更	④「京都市・大阪市・神戸市への通勤・通学者の分布」は、地図は削除し、それぞれの都市に通勤・通学している人数を府県ごとに数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。

213	地図	変更	⑤「淀川水系の水が供給されている地域」は、淀川水系流域界、利用区域、淀川を点図化し、琵琶湖・淀川給水区域の上水道の給水人口は数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
213	図	変更	⑥「琵琶湖の水質の変化」は透明度を 2 m 未満～ 4 m 未満、4 m～ 6 m 未満、6 m 以上に変更し、2008 年と 2020 年のものを点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
214	文章	変更	1 「学習したことを確認しよう」の地図は、削除し、原典 205 ページの地図を参照にすることとした。また、文章を以下のように変更した。 【1 学習したことを確認しよう 1. 地図を使って確かめよう。 ア 紀伊山地 イ 大阪平野 ウ 京都盆地 エ 奈良盆地 オ 淀川 . . . 2. 空欄にあてはまる言葉を入れよう。 (1) 近畿地方をながめて ア . 古くから (ア) があつた地域…歴史ある寺社や (イ) 、伝統・文化など。 古代・中世：(ウ) と結びつく。 以下、同様に続く】	2 編集の具体的方針(1)による。
218	地図	変更	②「中部地方の地域区分」は点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
218	グラフ	変更	③「中部地方各地の雨温図」は 3 枚とも点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
219	地図	変更	④「中部地方の地勢と各県」は、地勢と各県・各市の 2 つの要素に分け 2 枚の点図にした。	2 編集の具体的方針(1)による。
220	グラフ	変更	②「おもな工業地帯・工業地域の生産額の割合」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
220	グラフ	変更	③「輸送用機械の生産額の都道府県別割合」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
221	地図	変更	⑤「中部地方太平洋側の工業都市の分布」は、工業地帯、工業地域と工業生産額 3 兆円以上の都市を点図化し、工業地域別に 3 兆円以上と 1 兆～ 3 兆円未満の都市は数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。

221	グラフ	変更	⑧「パルプ・紙・紙加工品の生産額の都道府県別割合」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
222	グラフ	変更	②「茶の都道府県別の生産割合」は数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
223	グラフ	変更	④「日本の漁獲量の変化」は、遠洋漁業、沖合漁業、輸入量、海面養殖業を点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
223	地図	変更 削除	⑤「日本の主な漁港と水揚げ量」は、海流を削除し、10万t以上の漁港のみを点図化し、10万t以上の水揚げ量は数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
223	グラフ	変更	⑥「みかんの都道府県別の生産割合」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
224	グラフ	変更	②「レタスの都道府県別の生産割合」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
224	グラフ	変更	③「レタスの月別出荷量」はグラフを点図化し、数値は数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
224	グラフ	変更	④「ぶどうの都道府県別の生産割合」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
224	グラフ	変更	⑤「ももの都道府県別の生産割合」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
225	地図	削除 変更	⑥「中央高地の主な観光地と観光客数」は、地図を削除し、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
226	地図 写真	変更 削除	①「北陸地方の伝統的工芸品の産地」は、表化した。写真は削除し、表に含めた。	2 編集の具体的方針(1)による。
226	地図	変更	②「日本の最深積雪量の分布」は、年最深積雪量を140cm以上、60cm以上140cm未満、60cm未満に変更し、点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
227	地図	変更	③「日本の主な地場産業と伝統的工芸品産地の分布」は、表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
227	グラフ	変更	④「中部地方の主な県の農業生産額の割合」は数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
228	文章	変更	「1 学習したことを確認しよう」の地図は、削除し、原典教科書 219 ページの地図を参照にすることとした。また、文章を以下のように変更した。 【1 学習したことを確認しよう 1. 地図を使って確かめよう。 ア 飛騨山脈 イ 木曽山脈	2 編集の具体的方針(1)による。

			ウ 赤石山脈 エ 濃尾平野 オ 越後平野 . . . 2. 空欄にあてはまる言葉を入れよう。 (1) 中部地方をながめて ア . 3000m級の日本 (ア) : 飛騨山脈・木曽山脈・赤石山脈の三つの山脈。 以下、同様に続く】	
229	グラフ	変更	「高田 (上越)」の雨温図は点図化した。	2 編集の具体的方針 (1) による。
230	地図	変更	①「世界の主な茶生産国と消費国」は、地図を削除し、数表化した。	2 編集の具体的方針 (1) による。
231	グラフ	変更	④「清涼飲料水等の消費量の変化」は、2 枚のグラフに分けて点図化した。	2 編集の具体的方針 (1) による。
231	地図	変更	⑤「日本の主なブランド茶」は地図を削除し、表化した。	2 編集の具体的方針 (1) による。
232	地図	削除	「東京 23 区への通勤・通学者」の地図は削除した。	2 編集の具体的方針 (1) による。
233	地図	変更	「成田国際空港発着の国際航空路線網」は地図を削除し、表化した。	2 編集の具体的方針 (1) による。
235	地図	変更	④「関東地方の地勢と各都県」は、地勢と各都県・各市の 2 つの要素に分け 2 枚の点図にした。	2 編集の具体的方針 (1) による。
235	グラフ	変更	⑤「関東地方各地の雨温量」は、2 枚とも点図化した。	2 編集の具体的方針 (1) による。
236	地図	削除 追加	①「東京の都心」は、地図を削除し、次のように文章化した。 【東京都千代田区南部の桜田門から虎ノ門駅にかけては、最高裁判所や国会議事堂、外務省、経済産業省、厚生労働省、国土交通省、財務省、法務省、内閣府、農林水産省、警視庁などの中央官庁が集中している。】	2 編集の具体的方針 (1) による。
236	吹き出し	削除	あおい「写真と地図を照らし合わせてみよう。」は、削除した。	2 編集の具体的方針 (1) による。
236	グラフ	変更	②「東京都と関東地方への集中」は、数表化した。	2 編集の具体的方針 (1) による。
237	地図	変更	③「東京の中心部に集中する施設」は、鉄道路線、主要駅、商業・業務地区を点図化した。	2 編集の具体的方針 (1) による。

237	地図	削除 変更	④「日本国内の主な航空路線と旅客数」は地図を削除し、50 万人以上が利用している国内航空路線を数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
237	グラフ	変更	⑤「東京周辺の昼間と夜間の人口」は数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
238	グラフ	変更	③「東京大都市圏にみる地価の比較」は点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
239	地図	削除	④「鉄道に沿って拡大する東京大都市圏の市街地」は削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
239	地図	削除 変更	⑤「東京 23 区への通勤・通学者の分布」は地図を削除し、ニュータウンの位置と、通勤距離ごとに通勤通学者人口 20 万人以上、10 万人以上、5 万人以上の都市を表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
240	写真	追加	①「臨海部に広がる工業地帯と内陸部に広がる工場地域」に説明を以下の通り追加した。 【内陸部に広がる工業地域では、工業団地のすぐ近くに高速道路のインターチェンジが位置しています。】	2 編集の具体的方針(1)による。
240	グラフ	変更	②「全国にみる関東地方の工業の割合の変化」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
241	写真	追加	④「大都市への輸送条件のよさを生かしたキャベツ生産」の 2 枚の写真にはそれぞれ次のタイトルを追加した。 【(1) キャベツの収穫 (2) 大都市向けに出荷するための積み込み作業】	2 編集の具体的方針(1)による。
241	地図	変更	⑤「関東地方における工業都市の分布」は、自動車道、工業生産額が 3 兆円以上、1 兆円～3 兆円未満の都市を点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
241	グラフ	変更	⑥「関東地方と周辺の主な都市で消費される野菜の生産地」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
242	地図	変更	②「日本の主な港の貿易額」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
243	グラフ	変更	③「関東地方の主な港の貿易品目」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。

243	グラフ	変更	④「関東地方・東京都に暮らす外国人の割合」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
244	本文	変更	「1 学習したことを確認しよう」の地図は、削除し、原典 235 ページの地図を参照にすることとした。また、文章を以下のように変更した。 【1 学習したことを確認しよう 1. 地図を使って確かめよう。 ア 関東山地 イ 越後山脈 ウ 関東平野 エ 武蔵野 オ 下総台地 …… 2. 空欄にあてはまる言葉を入れよう。 (1) 関東地方をながめて ア . 東京：日本の(ア) であり、世界有数の大都市。 日本の人口の 3 分の 1 が集中。…関東平野＝日本最大の平野 以下、同様に続く 】	2 編集の具体的方針(1)による。
245	本文	変更	3. 東京都の特色について書こう。 東京を中心にした関東地方への人口集中は、東京が日本の政治の中心であることが影響している。また、東京都の自然環境が工業、商業、近郊農業などの産業の発達を促し、日本の経済の中心・東京へと発展させてきた。これらは関東地方の人口集中と関係しあっている。 (1) 日本の政治の中心・首都東京としての特色を書こう。 (2) 日本の経済の中心・東京都としての特色を書こう。 (3) 人々の生活や産業発展の背景にある、東京の自然環境の特色を書こう。	
245	地図	削除	「2 学習したことを振り返ろう」のスケールは削除し、図を以下に変更した。 東京都心 ↓ 副都心	2 編集の具体的方針(1)による。

			↓ 東京大都市圏 ↓ 関東地方（大都市圏外） ↓ 日本の諸地域 ↓ 世界	
246	グラフ	変更	「果樹の都道府県別の生産割合」のグラフは、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
248	地図	変更	①「やませによる霧の発生と、やませの吹き込み方」は、(3)の地図を点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
248	グラフ	変更	②「東北地方各地の雨温図」は、6枚とも点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
249	地図	変更	③「東北地方の地勢と各県」は、地勢と各県・各市の2つの要素に分け2枚の点図にした。	2 編集の具体的方針(1)による。
249	図	変更	⑤「リアス式海岸と津波の関係」は点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
250	地図	変更	①「東北地方の伝統的工芸品の分布」は、表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
251	図	変更	③「南部曲家の間取りの例」は、居室等の名称を表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
253	地図	変更	④「ユネスコに登録された日本の無形文化遺産の分布」は、表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
254	写真	追加	①「農村の風景」に、次のキャプションを追加した。 【直線ではないあぜ道や曲がりくねった水路が見られます。】	2 編集の具体的方針(1)による。
255	地図	変更	④「東北地方の主な交通網と工業の分布」は、タイトルを「東北地方の高速道路とI C関連工場の分布」に変更し、高速道路、I C関連工場を点図化し、製造品出荷額を数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
256	グラフ	変更	②「東北各県の米の品種別作付面積の割合」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
257	グラフ	変更	④「東北地方各県の農業生産構成の変化」は、数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。

258	文章	変更	「1 学習したことを確認しよう」の地図は、削除し、原典 249 ページの地図を参照にすることとした。また、文章を以下のように変更した。 【1 学習したことを確認しよう 1. 地図を使って確かめよう。 ア 奥羽山地 イ 出羽山地 ウ 北上高地 エ 庄内平野 オ 仙台平野 . . . 2. 空欄にあてはまる言葉を入れよう。 (1) 東北地方をながめて ア . 気候：奥羽山脈と (ア) の影響を受ける。 日本海岸：冬、多雪。6～7月、(イ) の影響。…高温の風が吹き下すことも。 以下、同様に続く】	2 編集の具体的方針(1)による。
257	地図	削除	「2 学習したことを振り返ろう」の文章を以下のように変更した。 【1. (東北地方の自然環境・農業・伝統文化の特色) 学習したキーワードをあげ、学習してきたことがらがどのようにつながるか、意識して「自然環境」「伝統文化」「農業」の三つに分類しよう。三つの視点から物事を考え、分類する方法に「Yチャート」があります。】 また、Yチャートは点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
260	地図	変更	②「岩手県宮古市田老地区の位置」の地図は点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
261	地図	変更	④「宮古市田老地区の復興まちづくり計画図」は以下の通り文章化した。 (計画図から読み取れること) 海岸に近い順に 14.7m の第 1 防潮堤、10m の第 2 防潮堤をつくり、津波が到達しない高台に居住地域(山王団地)をつくる。国道 45 号線は土地をかさ上げした場所にルートを変更し、国道 45 号線より海側は災害危険区域となる。L2 津波が到達した際に被害が出る可能性が高い区域で、災害危険区域内の建物の建築は制限される。第 2 防潮堤より内陸側を震災後の区画整理区域とする。	2 編集の具体的方針(2)による。

265	地図	変更	③「北海道地方の地勢」は、地勢と主な各市の2つの要素に分け2枚の点図にした。	2編集の具体的方針(1)による。
266	地図	変更	②「各地で異なる北海道の積雪量」は、年最深積雪量を140 cm以上、60 cm以上140 cm未満、60 cm未満に変更し、点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
267	グラフ	変更	⑥「北海道各地の雨温図」は、3枚とも点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
267	地図	変更	⑨「十勝川流域の湿地の分布の移り変わり」は、湿地と農地を点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
268	グラフ	変更	②「日本・各都道府県と北海道の耕地面積の比較」は、それぞれを数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
269	本文	変更	「十勝平野で農家を経営する村瀬さんの話」の冒頭部分を以下のように変更した。 【明治時代の終わりに開拓された農地で…】	2編集の具体的方針(1)による。
269	グラフ	変更	④「主な農産物の生産量に占める北海道の割合」は、北海道以外の県をその他として点図化し、他県を入れた数値を併記した。	2編集の具体的方針(1)による。
271	地図	変更	⑥「北海道の市町村別漁業生産量と魚種別生産量」は、北海道の魚種別生産量、北海道の市町村別漁業生産量それぞれを数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
272	グラフ	変更	③「北海道を訪れる観光客数の推移」は、点図化した。	2編集の具体的方針(1)による。
272	グラフ	変更	④「北海道の外国人観光客の国・地域別割合」は、数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
273	地図	変更	⑤「日本の国立公園」は、表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
273	グラフ	変更	⑥「北海道の月別観光客数」は、数表化した。	2編集の具体的方針(1)による。
274			「1 学習したことを確認しよう」の地図は、削除し、原典 265 ページの地図を参照にすることとした。また、文章を以下のように変更した。 【1 学習したことを確認しよう 1. 地図を使って確かめよう。 ア 天塩山地 イ 北見山地 ウ 石狩山地 エ 日高山脈	2編集の具体的方針(1)による。

			オ 石狩平野 . . . 2. 空欄にあてはまる言葉を入れよう。 (1) 北海道地方をながめて ア . 気候と土地利用に違い。 西側：積雪が多い。石狩平野・川上盆地…稲作地帯。 東側：積雪少ない。十勝平野・根釧台地…畑作と (ア) 地帯。 以下、同様に続く】	
275	本文	変更	「3 学習したことを活用してまとめよう」の文章を以下の通り変更した。 【雄大な自然が残る北海道は、観光地としてとても魅力的なところです。北海道の自然環境を生かしたエコツアーを企画しよう。】	2 編集の具体的方針(1)による。
276	地図	変更	③「ベツ」「ナイ」(「川」の意味)がつく地名の分布は、地名の数を数表化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
281	地図	変更	①「熊本県水俣市の位置」は、点図化した。	2 編集の具体的方針(1)による。
281	地図	削除	②「水俣駅周辺の新旧地形図」削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
285	スライド	変更	①～④ 調査結果のスライド「水俣市の過去と現在」については、テキスト部分だけを抽出して点訳した。	2 編集の具体的方針(2)による。
287	ポスター	変更	発表用ポスターの「水俣病は今どうなっているのか？」については、テキスト部分だけを抽出して点訳した。	2 編集の具体的方針(2)による。
288～293	本文	変更	「用語解説」は、掲載を50音順に変更し点訳し、項目の最後に、原典の冒頭に原典のテーマ順の掲載目次リストをつけた。なお、本編の参照ページは削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。
まなびリンク	表	変更	統計資料「世界の国々のあらまし」は、まなびリンクからデータを抽出し、冒頭に6地域ごとと国名を対照できる目次リストを付け、以下表の形式で国ごとに掲載した。	2 編集の具体的方針(2)による。
まなびリンク	表	削除 変更	統計資料「日本の都道府県のあらまし」は、原典と縦横を入れ替え、項目を織り込み、表形式で示した。項目数が多いため、274ページ、275ページと2種類の表を作成した。	2 編集の具体的方針(1)による。
294	本文	削除	巻末の索引は、削除した。	2 編集の具体的方針(1)による。

～297				による。
巻末 1 巻末 2 巻末 3	写真	削除	「主な家畜」「おもな鉱産物」「世界の主な農産物」は、タイトルのみをリスト化して表し、写真は削除した。（1巻に掲載）	2編集の具体的方針(1)による。